

日本骨髄バンクの現状（2002年10月末）詳細は別添一覧を参照下さい。

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,635	2,486	160,975	200,122
患者登録者数	130	157	1,949	13,346
骨髄移植例数	61	61	-	4,460

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

① ドナー登録数は16万人超、目標まであと14万人 -累計では20万人超

本年（2002年）10月末に、ドナー登録者の累計数が20万122人となり20万人の大台を超えました。リクルートの活動にご協力をいただきました皆様、登録していただいたドナーの皆様とその周りの全ての皆様にお礼を申し上げます。1992年1月のドナー登録受付開始から10年10ヵ月かかったこととなります。ドナー登録者の現在数も、ようやく16万を超えましたが、目標とする30万人を早期に達成するには、全国各地で様々な取り組みが必要であり、全力をあげて努力してまいります。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

② 11月の登録会。2000人の登録でも黄信号点滅。

10月のドナー登録者数は2486人で、取消者数は396人、実質増加数は2090人でした。本年度に入り月間登録者数として、はじめて2000人を上回りましたが、それでも昨年の10月の登録者との比較では86.1%と、連続4ヵ月間、登録者数が前年同月比を下回り、目標達成への黄色信号が点滅しています。登録会の回数は、138回（そのうち献血併行102回）が実施され、合計1527人の方にご登録をいただきました。前年同月との比較では、回数では151.6%（献血併行200.0%、集団登録90.0%）、登録者数では97.9%（献血併行118.3%、集団登録78.2%）で、固定の窓口での登録減少が目立っており、登録者数は71.9%でした。都道府県別では、愛知15回、北海道、福島、富山11回、京都8回、東京、岐阜7回、栃木6回、新潟、三重、沖縄5回、山形、福井、石川、和歌山4回、埼玉、神奈川、兵庫、島根、広島3回、秋田、宮城、茨城、徳島2回、岩手、千葉、大阪、岡山、鳥取、佐賀、長崎、大分がそれぞれ1回開催されました。

3 臨時理事会、評議員会が開催されます。

11月26日(火)、15時から当財団の臨時理事会、評議員会が廣瀬第二ビル3階会議室において公開で開催されます。「常任理事会設置について」などが審議される予定です。

4 12月は骨髄バンク推進月間、全国一斉登録会の開催をお願いします。

12月は、骨髄バンク推進月間です。今年度は全国大会の開催はいたしません、「全国一斉ドナー登録会」を実施します。既に当財団から関係機関へ協力要請の依頼を申し上げ、日本赤十字本社から各血液センターへ通知を出していただいておりますが、10月28日、厚生労働省が都道府県、政令市に対し「骨髄提供希望者の確保について(協力依頼)」を発出しました。内容は、(1)ドナー登録会の成果を評価、(2)政府審議会は献血併行ドナー登録会を有効な手段と評価し、地方自治体への浸透を重要視、(3)献血併行ドナー登録会への協力と関係者間の連絡調整を地方自治体へ要請、(4)12月の「全国一斉ドナー登録会」の実施を呼びかける—というものです。11月13日まで財団へ報告されている計画では、献血併行型88回、集団登録会51回の開催予定で、2140人の登録者が見込まれますが、努力目標の5000人にはまだ届いていません。ラストスパートをよろしくをお願いします。

5 コーディネーターブラッシュアップ研修会が開催されました。

10月25日、26日の2日間にわたって大阪国際会議場にてコーディネーターブラッシュアップ研修会が開催され、総勢82名のコーディネーターが参加しました。今回の研修会は、今年の4月から活動しているコーディネーターのレベル統一を主軸に、スキルアップ研修を行いました。具体的には、グループワークでの事例検討や採取フォローアップに関するケーススタディ、骨髄移植や採取の医学講義、また、コミュニケーション技術の向上のための研修等を実施しました。また、今回の研修には、コーディネーター指導体制強化のため、コーディネーターアドバイザーも参加し、後輩の指導にあたりました。

6 新ポスターは夏目雅子さんニューヴァージョン

今年も推進月間にあわせ、骨髄バンク啓発ポスターを作成します。前回好評を得た夏目雅子さんが、新ヴァージョンで再登場します。実兄で夏目雅子ひまわり基金の小達一雄氏、写真家の沢渡朔氏をはじめ、関係者のご理解、ご協力により実現しました。1985年に急性骨髄性白血病のため27歳で亡くなった夏目雅子さんですが、その時に骨髄バンクがあったなら……。鮮やかな在りし日の雅子さんが「あなたのドナー登録を待っています」と呼びかけます。12月上旬から、都道府県、市町村、保健所などの行政機関、全国の郵便局などに掲出されます。A2、B2、A3の3サイズを用意いたしますので、皆様もご活用ください。

7 日韓交流シンポジウム・韓国映画「ラスト・プレゼント」試写会開催

10月25日、日本造血細胞移植学会の終了後、大阪国際会議場で「命のボランティアでつなく日韓交流シンポジウム」が、関西骨髄バンク推進協会、日本造血細胞移植学会、共生ユニットAPUROまつばら、の共催で開催され、韓国、中国、日本のバンク関係者、日本のドナーから骨髄移植を受けた韓国の元患者さん、韓国の患者さんへ提供した日本のドナーさんが登壇され、最も近い国同士で一層助け合いを深めようと話しました。中国の医療関係者からは、中国と日本の間にもこのような関係を作り上げたいと話されました。また、11月27日には、東京千代田区イイノホールにおいて韓国映画「ラスト・プレゼント」のチャリティー試写会が、韓国文化院の主催で韓国大使館関係者を招待し、開催されます。売れないコメディアンと彼を支える妻の物語。昨年、韓国中を話題の渦に巻き込み、今年の福岡国際映画祭では観客動員数第一位にランクされた作品です。劇中では病気については一言も触れられませんが、オ・ギファン監督は主人公を白血病と設定しているそうです。日本では考えられない病院事情などの表現があるものの、涙と笑い、感動を与えてくれる作品です。劇場公開は12月から。監督：オ・ギファン 主演：イ・ヨンエ、イ・ジョンジェ

8 中溝裕子さん「筆文字カレンダー」—1冊につき100円が骨髄バンクに寄付

妹さんから骨髄移植を受けたプロゴルファー中溝裕子さんは、昨年の全国大会をはじめ、骨髄バンクの啓発活動にご協力をいただいています。入院中にはじめた筆文字は、多くの方々に元気と勇気と感動を与える作品となっていますが、この度「2003年 筆文字カレンダー」を制作されました。中溝さんの所属するプロダクションのホームページ(下記参照)から購入の申し込みができます。税込価格1200円、1冊につき100円が当財団にご寄付されます。

<http://www.s-rights.co.jp/>

9 当財団各委員会、開催予定

公開委員会の傍聴をご希望の方は事前に財団事務局までお問い合わせのうえ、お申込みくださいますようお願いいたします。 <http://www.jmdp.or.jp/info/oshirase/index.html>

国際協力事業の状況()、HLA照合サービス状況期間

日本 米国	
米国 日本	
日本 台湾	
台湾 日本	
日本 韓国	
韓国 日本	
その他の国 日本	

お知らせ

国の造血細胞移植委員会は11月22日(金) 13:00から15:00、厚生労働省(合同庁舎5号館) 共用7階会議室で開催されます。

お詫び

10月号のマンスリーレポートの四半期のデータの国際協力事業の状況に誤りがありました。訂正させていただきます。 韓国 日本 誤) 骨髄提供49件 正) 骨髄提供58件

当財団への問合せが減少しています。

各団体や企業、サークル等の機関紙にドナー登録問い合わせ電話

「財団フリーダイヤル0120-445-445」と「財団ホームページアドレス<http://www.jmdp.or.jp/>」の掲載をお願いします。